

監査委員として 区の全ての事業 5部3局 会計室、57課すべてを監査し、 監査意見書をまとめ区長、議長へ提出いたしました。

一般会計 歳入

特別区税は、区の歳入の36.5%を占め、所得の高い納税者の増加が歳入全体の増加につながっています。今後はコロナウイルス感染症による経済景気への影響から、社会情勢の動向等に注視しながら限られた財源を効果的、効率的に活用した行財政運営に取り組むことを求めました。

一般会計 歳出

執行率は82.4%で対前年▲3%
直近5年間で最も低い状況となっていました。
令和3年度の予算編成にあたっては要因を分析し十分に精査した上で予算計上することを求めました。

特別会計 国民健康保険 介護保険 後期高齢者医療保険

いずれも被保険者には高齢者が多く法定外繰入金も含めて保険料の適正化に努めるよう求めました。

今後の課題 ①新型コロナウイルス感染症への対応 ②職員体制 ③基金の活用 について



監査意見書を区長に提出



監査意見書

令和2年度『桜会ファミリーの集い』の中止についてのお知らせ

日頃より桜井ただしにご支援とご協力を賜り心からお礼を申し上げます。今年も11月3日に行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症が未だに収束せず、日常生活を取り戻しつつあるものの、ご参加いただく皆様方の安全を第一に考え、今回は止むなく中止をさせて頂くことといたしました。大変、残念ではございますが来年の開催を楽しみに、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

桜井ただしのプロフィール



昭和28年8月7日生まれ 66歳 しし座
麹町幼稚園、麹町小学校、麹町中学校を卒業
立教大学経済学部卒業(昭和51年)
立教大学体育会陸上競技部OB
(株)明治屋入社 営業畑一筋に23年
平成11年 千代田区議会議員初当選(現在6期目)
東京都後期高齢者広域連合議会(初代、第11代議長)
第63代 千代田区議会議員

【議会関係現職】
千代田区監査委員
企画総務委員会委員
景観・まちづくり特別委員会委員
災害時要配慮者対策特別委員会委員
千代田区議会だより編集委員長

【地域の関係現職】
麹町地区環境整備協議会会長
麹町小学校同窓会会長
麹町商店会副会長
麹町消防少年団団長

桜井ただしの区政レポート

編集/発行 桜井ただし事務所 〒102-0083 東京都千代田区麹町4-5 桜井ビル2階
<区政のご相談は> TEL:03-3261-7301 FAX:03-3261-0580 sakurai@arion.ocn.ne.jp



いつも一生懸命！
都心「千代田」から新しい風を

桜井ただし
www.tadashi-sakurai.com

ご挨拶

皆様、いかがお過ごしでしょうか。今年の春先からの新型コロナウイルス感染症の蔓延により各種会合やイベントは中止となりコミュニティは止まったままで、未だに収束の兆しは見えていません。一日も早く平穏な日々が迎えられ新型コロナウイルスの終息を祈るばかりです。さて、議会でも今までに経験した事の無い事がこの半年間の中で起きました。3月10日、区長の三番町マンション購入の疑惑についてNHKの報道から始まり、100条委員会の調査、議会解散報道、選挙管理委員会の判断、議会審議の中断、地裁への提訴、解散無効の判断、そして議会と区民に対しての謝罪に至るまで千代田区は新聞、テレビを賑わしワイドショーにまで取り上げられるようになりました。このような事が起きたことは大変残念ですが間違いは正し、真実を一日も早く明らかにして区民の皆様に安心していただけるよう議員の一人として頑張っております。

桜井ただしに取り組む8つのライフワーク

1 高齢者

いつまでも安心して暮らせる幸せ社会の実現

2 子ども

子育て世代への幅広い支援と青少年の健全育成

3 障がい者

毎日が生きがいの持てる障がい者施策の拡充と自立支援に向けた取り組み

4 商店会・中小企業

景気回復と中小企業の振興、商店会の活性化

5 健康づくり

0才からお年寄りまで生き生きと健やかな区民の健康づくりを支援

6 街づくりと地域コミュニケーション

地域の賑わいと交流が生まれるまちづくり
バランスのとれた良好な景観づくりの推進

7 防災

災害に強いまちづくりと安全安心社会に向けた様々な取り組み

8 相続税・固定資産税の減税運動

いつまでも千代田区に住み、働くことのできる為に

令和2年第2回臨時会 予算特別委員会

新型コロナウイルス感染症対策として 区民1人当たり12万円が給付されます！



新型コロナウイルス感染症対策として『区民1人当たり12万円の給付金』と商工融資・商工関連支援事業86億861万1千円を可決。区長の発言で1ヶ月の空転をしましたが給付金は12月にかけて一括給付される予定です。

今回の区議会臨時会は、当初7月27日から5日間の予定でしたが、区長の解散通知発言により審議不能となり、9月1日まで会期を延長し、全会一致で可決しました。補正予算は新型コロナウイルス感染症対策としての給付金と財政状況が脆弱な小規模企業への新たな融資制度の創設や新生活様式対応への商工関係団体への支援のため、約86億円の予算を計上するものです。



※会議に欠席した区長、部長などの氏名柱

議会審議の中で明らかになりました

①当初、区では特別支援給付金の支給が区民一人ずつに支払われることになっていましたが、新

たな事務費として3倍以上もの費用がかかることから事務費の削減に努めることを求めました。
②一人あたり12万円の支給根拠が不明確なことや具体的に制度設計がされていないことが明らかになり、また、虚装転入のチェックやDV被害者への支給方法、区内ホームレスへの支給など柔軟な対応も明らかになりました。
③商工関係団体等支援では、新型コロナウイルス感染症対策として、アクリル板や消毒液の購入、加盟飲食店のテラス席営業による関連費用などが明らかになりました。採決の結果、下記の附帯決議をつけて可決しました。

「議案第46号 令和2年度千代田区一般会計補正予算第3号」に対する附帯決議

執行機関は、区民の命と健康を守ることを優先的に区民生活の安全・安心を確保する基本的自治体としての役割を十分に認識し、下記のとおり取り組むことを強く求める。

記

- ①特別支援給付金は世帯給付とし、DV対策や家庭の実情に柔軟に対応し、事務費の削減に努め、削減した分に関しては、更なる新型コロナウイルス感染症対策に充てること。
- ②特別支給給付金の基準日を国の定額給付金と同様令和2年4月27日とすること。
- ③既に実施している高齢者の介護施設に続き、子どもたちの保育や教育、保健所、清掃事務所職員等を対象に独自のPCR検査を実施すること。
- ④新型コロナウイルス感染症への区民の不安を払拭するため、インフルエンザ予防接種の希望者に対し、時限的に無償化すること。
- ⑤新型コロナウイルス感染症収束まで、新しい生活様式に対応した産前産後の母子支援を充実すること。

区長は議会・区民に対し解散通知の撤回と謝罪を行い、議会は1ヶ月ぶりに正常化へ

区長は、議会から出された「虚偽の陳述及び証言拒否に対する告発について」の可決を受けこれが客観的に不信任議決であるとの解釈に立って区議会の解散を通知しました。しかし、千代田区選挙管理委員会は区長の解散通知は無効であり解散選挙はしないと判断しましたが選挙管理委員会や総務省が何と言おうと私が判断するとして考えを変えませんでした。議会としては司法に判断を委ねるため東京地裁に解散通知の執行停止と解散の無効確認を求めたところ、私たちの主張を認める決定を頂きました。その後、これを受けて区長は解散の取消通知をし、区議会・区民に対して解散通知により区政の混乱を招いたことを謝罪しました。



毎日新聞 令和2年8月13日(朝刊)

百条委員会で区長の疑惑を審査

NHKの報道により石川区長が家族と共に購入した三番町の高級マンションの一室が一般には販売されていない「事業協力者住戸」であったことや区長という立場から優先的に購入されたのではないかとする疑惑が報じられました。又、この建物は千代田区の総合設計制度を利用して容積率が緩和された

物件であった為、マンション販売会社に便宜を図った見返りに有利な条件で物件を購入したのではないかと、との疑惑から百条委員会が立ち上りました。私も同委員会の委員として皆様にしっかりと真実をお知らせ出来るよう努めて参ります。

